

## 海外安全対策情報 平成30年度第1四半期（4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

2月4日、ギニア全土で地方選挙が行われて以降、選挙プロセス及び結果に不満を持った野党支持者の抗議デモが発生し、死傷者が出ました。5月にカソリー・フォファナ新内閣が発足し、野党との対話姿勢を強化したこともあり、4月～6月の間、予定されていた抗議デモは相次いで中止となりました。しかしながら、野党による抗議活動が引き続き発生する可能性があるため、注意が必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

一般犯罪発生状況は、従前と比較し改善している傾向も見られますが、政府車両を標的にした強盗や、裕福な家庭を狙った強盗事案がたびたび発生しています。

また、国境、県境周辺や幹線道路沿いでは、長距離タクシーや乗用車を狙った武装強盗による被害も治安当局により確認されています。

今後も、家族含め犯罪に巻き込まれないよう、行動には一層の注意を払い、自ら安全を守る心構えが必要です。防犯の心構えとして当館ホームページに掲載の【安全の手引き】をご覧ください、未然の防止に努めてください。

#### （1）一般犯罪・凶悪犯罪事案

シギリ県（高地ギニア地方・マリ国境付近）では6月、長期間停電に伴う電気の供給不足によって暴動が発生し、地元住民が鉱山会社の施設や銀行の建物を破壊するなどの被害が出ました。

#### （2）邦人被害事案

（ア）4月、コナクリ市ラトマ区ヤタヤ地区において、邦人がバイクに乗った3人組の強盗にナイフを突き付けられ、携帯電話等を強奪されました。邦人に怪我はありませんでした。

（イ）6月、コナクリ市ラトマ区ソnfonia地区において、携帯電話の窃盗未遂事件が発生しています。

#### （3）在留外国人（邦人以外）の被害事案

4月、コナクリ市ラトマ区カポロ周辺に住んでいたイタリア人が自宅前で行われていた抗議活動を撮影していたところ、撮影に激怒した参加者がイタリア人宅に押し入り、金品を強奪しました。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西ア

フリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

- (1) 5月、コナクリ市マトト区でビジネスマンが車両を走行中、武装強盗に襲撃され、誘拐される事件が発生しました。
- (2) 5月、コナクリ市ディキシン地区でレバノン人が誘拐犯によってビルに監禁され、10万ドルを要求される事件が発生しました。
- (3) その他、在留邦人の被害事案は確認されていません。

#### 5 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

#### 6 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われず。

以上